

2022年度 施策評価シート(2021年度実績)

1 評価施策名	担当部課室	教育委員会 人権教育・生徒指導課
重点戦略	I 教育県岡山の復活	
戦略プログラム	徳育・体育推進プログラム	
施策名	【重点】不登校等を生まない学校づくりの推進	

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	小・中・高等学校における不登校の出現割合（児童生徒1千人当たり）の全国平均との差	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	+0.3	+0.2	+0.1	±0.0
現況値	+0.6人（2019年度）	実績値	-2.9			
目標値	±0.0人	達成率	※-%			
備考		達成度	※5			

3 関連する事業名

- ・スクールカウンセラー配置事業
- ・思春期サポート事業
- ・スクールソーシャルワーカーを活用した行動連携推進事業
- ・「岡山型長期欠席・不登校対策スタンダード」の徹底及び別室指導の推進
- ・小学校における長期欠席・不登校対策システム化推進事業

4 施策達成レベル

5.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

<p>長期欠席・不登校対策に係る登校支援員や別室支援員の配置校において、不登校対策担当者を中心とした組織的な不登校対策が進むとともに、別室指導の実践研究校においては、長期欠席・不登校の児童生徒が教室復帰を果たすなどの成果が現れている。また、スクールカウンセラー等の専門家の配置及び積極的な活用、関係機関との連携した支援体制、教育相談体制や教職員研修の充実を図ることで、不登校の出現割合の全国平均を下回る成果につながった。</p>
--

6 今後の施策推進に向けての課題

<p>不登校の出現割合については、全国平均を下回ったものの、依然として高い数値を示しており、一層各校の不登校対策担当者を中心とした組織的対応の徹底を図るとともに、効果的な別室指導の実践や、ICTを活用した不登校対策の実践等について県下に普及する必要がある。</p> <p>また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの優秀な人材確保も課題である。</p>
--

2022年度 施策評価シート(2021年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	教育委員会 義務教育課
重点戦略	I 教育県岡山の復活		
戦略プログラム	徳育・体育推進プログラム		
施策名	【重点】道徳教育を中心とした規範意識の確立		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	「人が困っているときは、進んで助けている」と回答した児童生徒の割合(小学校6年生)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	47.0	48.0	49.0	50.0
現況値	44.7%(2019年度調査)	実績値	46.6			
目標値	50.0%	達成率	99.1%			
備考		達成度	3			

指標名	「人が困っているときは、進んで助けている」と回答した児童生徒の割合(中学校3年生)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	41.0	44.0	47.0	50.0
現況値	36.5%(2019年度調査)	実績値	41.9			
目標値	50.0%	達成率	102.2%			
備考		達成度	4			

3 関連する事業名

・道徳教育総合支援事業

4 施策達成レベル

3.5	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

就学前の心の教育の充実を図るため、公立幼稚園・認定こども園の道徳教育を推進する教諭・保育教諭を対象とした研修会の開催や、中学校を対象とした郷土の偉人に関する教材の作成・授業パッケージの配付などにより、道徳教育の充実を図り、子どもたちの自立心や主体性、規範意識の向上、郷土愛の醸成を推進した。

6 今後の施策推進に向けての課題

中学校道徳の教科化を踏まえ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を目指した好事例の普及を進め、道徳教育のさらなる充実を図る必要がある。また、学校における郷土教育を引き続き実施し、「夢育」の推進とともに地域とつながる力を育み、郷土岡山を愛する人材の育成に努める必要がある。

2022年度 施策評価シート(2021年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	教育委員会 人権教育・生徒指導課
重点戦略	I 教育県岡山の復活		
戦略プログラム	徳育・体育推進プログラム		
施策名	【重点】暴力行為等への対策の推進		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	小・中・高等学校における暴力行為の発生割合（児童生徒1千人当たり）の全国平均との差	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	+0.2	+0.1	±0.0	±0.0
現況値	+0.4件（2019年度）	実績値	-1.0			
目標値	±0.0件	達成率	※-%			
備考		達成度	※5			

3 関連する事業名

- ・スクールカウンセラー配置事業
- ・スクールソーシャルワーカーを活用した行動連携推進事業
- ・学級崩壊等早期対応事業
- ・学級サポートチーム派遣事業
- ・アプリを利用した匿名によるいじめ等の相談・報告システム活用事業

4 施策達成レベル

5.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

県のいじめ問題対策基本方針に基づく対策の徹底、関係機関と連携した支援体制や教育相談体制の整備、教職員研修の充実、スクールソーシャルワーカーの配置及び研修体制強化、早期からの継続的な学校支援、県警と連携した課題の大きい学校への重点的支援等に取り組むことで、学校の荒れの改善が推進され、暴力行為の発生割合は全国平均を下回った。

6 今後の施策推進に向けての課題

暴力行為の発生割合は全国平均を下回ったものの、引き続き、落ち着いた環境づくりを推進していくため、問題行動の未然防止とともに、問題行動を課題が見え始める初期段階で確実に捉え、早期の解決に向けた取組を徹底できるよう、教職員によるチーム対応や関係機関等との緊密な連携などを徹底し、引き続き、指導員による指導・支援を行うことで、学校における組織的対応の充実を図る必要がある。また、改善の見られる学校の指導体制等の好事例を収集し、そのノウハウの普及を図る。

2022年度 施策評価シート(2021年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	警察本部 生活安全部
重点戦略	I 教育県岡山の復活		
戦略プログラム	徳育・体育推進プログラム		
施策名	【重点】青少年の健全育成・非行防止対策の推進		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	少年人口(10~19歳) 1千人あたりに占める刑法犯少年の割合(非行率)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	2.6	2.5	2.4	2.2
現況値	2.9人(2019年)	実績値	2.2			
目標値	2.2人	達成率	※118.2%			
備考		達成度	4			

3 関連する事業名

- ・「心と命の教育活動」の推進
- ・規範意識向上、再非行防止対策の推進

4 施策達成レベル

4.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

各学校からの要望を踏まえながら、学校警察連絡室による各種非行防止対策を推進した結果、2021年中に検挙・補導した刑法犯少年は417人(前年比-46人)であり、非行率は2.2人(前年比-0.2人)であった。特に、非行率は9年連続で過去最少を更新するなど、県下の非行情勢は改善傾向を維持している。

6 今後の施策推進に向けての課題

県下の非行情勢は改善傾向を維持しているものの、非行率はいまだ全国ワースト上位であるなど、依然として厳しい状況にある。さらなる改善を目指し、教育機関や少年警察ボランティア、保護者等と連携しながら、年齢・学識等に応じた低年齢段階からの非行防止対策や立ち直り支援活動等による再非行防止対策を推進していく必要がある。

2022年度 施策評価シート(2021年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	教育委員会 人権教育・生徒指導課
重点戦略	I 教育県岡山の復活		
戦略プログラム	徳育・体育推進プログラム		
施策名	【重点】スマホ・ネット対策の推進		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	スマートフォン等の利用に関して「家庭のルールがある」と回答した児童生徒の割合(小学生)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	63.2	63.8	64.4	65.0
現況値	61.9%(2019年度)	実績値	64.9			
目標値	65.0%	達成率	102.7%			
備考		達成度	4			

指標名	スマートフォン等の利用に関して「家庭のルールがある」と回答した児童生徒の割合(中学生)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	51.7	52.8	53.9	55.0
現況値	49.4%(2019年度)	実績値	52.0			
目標値	55.0%	達成率	100.6%			
備考		達成度	4			

3 関連する事業名

- ・青少年のスマホ・ネット利用のルールづくり促進事業
- ・生徒指導上の課題解決に向けた効果的な対応策普及促進事業
- ・「親育ち応援学習プログラム」の推進

4 施策達成レベル

4.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

<p>スマホ・ネット問題総合対策の推進により、スマホやネットの適切な利用について、児童生徒の主体的な活動やペアレンタルコントロールの利用が拡がること等により家庭でのルールづくりが促進された。</p> <p>P T A指導者研修等において、保護者にスマホ等の利用に関する「家庭のルールづくり」の必要性を伝えるとともに、親育ち応援学習プログラムを活用した研修実施を呼びかけることで、単位P T Aでスマホやメディアに関する研修が実施された。</p>
--

6 今後の施策推進に向けての課題

<p>子どもを取り巻くスマホ・ネット問題の解決に向け、児童生徒への情報モラル教育のさらなる充実を図るとともに、スマホやネットの適切な利用について、児童生徒の主体的な取組や、保護者に対する啓発や研修の充実による家庭でのルールづくりの促進を一層図る。また、G I G Aスクール構想の促進など、児童生徒の情報端末の利用促進を図っていることから、引き続き利用時間や利用内容を把握しながら、長時間利用の課題への取組を進めていく必要がある。</p> <p>「親育ち応援学習プログラム」の推進については、プログラムのより一層の活用を市町村担当者や学校関係者に呼びかけていく必要がある。</p>
--

2022年度 施策評価シート(2021年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	教育委員会 義務教育課
重点戦略	I 教育県岡山の復活		
戦略プログラム	徳育・体育推進プログラム		
施策名	【重点】より良い社会づくりに参画する人材の育成		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と回答した児童生徒の割合(小学校6年生)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	57.0	58.0	59.0	60.0
現況値	55.0%(2019年度調査)	実績値	52.0			
目標値	60.0%	達成率	91.2%			
備考		達成度	3			

指標名	「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と回答した児童生徒の割合(中学校3年生)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	42.5	45.0	47.5	50.0
現況値	38.9%(2019年度調査)	実績値	42.5			
目標値	50.0%	達成率	100%			
備考		達成度	4			

3 関連する事業名

- ・おかやま創生小中学校パワーアップ事業

4 施策達成レベル

3.5	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

<p>小・中学生が地域を題材とする学習に取り組んだ成果を募集し、優れた取組を表彰する「おかやま学びたい賞」等、小・中学校が子どもの育成像を共有した上で地域と連携して、地域の課題解決や地域の特色を生かした魅力づくり等を行う取組を通して、子どもたちの住んでいる地域への愛着や地元貢献意識を育んだ。</p>
--

6 今後の施策推進に向けての課題

<p>子どもたちが地域に誇りと愛着を持ち、地域課題を自ら解決しようという当事者意識や実践力を身に付けられるよう、課題解決型学習の推進や「おかやま学びたい賞」の継続実施等、発達段階に応じて地域と連携した教育活動を進め、教員の指導力向上も図りながら、子どもたちが地域で活躍する場を創出する必要がある。</p>
--

2022年度 施策評価シート(2021年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	教育委員会 保健体育課
重点戦略	I 教育県岡山の復活		
戦略プログラム	徳育・体育推進プログラム		
施策名	【重点】子どもたちの体力の向上		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	「運動やスポーツをすることが好き」と回答した児童生徒の割合(男子・小学校5年生)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	72.0	73.0	74.0	75.0
現況値	70.7%(2019年度)	実績値	68.8			
目標値	75.0%	達成率	95.6%			
備考		達成度	3			

指標名	「運動やスポーツをすることが好き」と回答した児童生徒の割合(女子・小学校5年生)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	55.5	57.0	58.5	60.0
現況値	54.1%(2019年度)	実績値	51.6			
目標値	60.0%	達成率	93%			
備考		達成度	3			

指標名	「運動やスポーツをすることが好き」と回答した児童生徒の割合(男子・中学校2年生)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	64.2	64.5	64.8	65.0
現況値	63.6%(2019年度)	実績値	63.1			
目標値	65.0%	達成率	98.3%			
備考		達成度	3			

指標名	「運動やスポーツをすることが好き」と回答した児童生徒の割合(女子・中学校2年生)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	49.5	49.7	49.9	50.0
現況値	49.1%(2019年度)	実績値	46.3			
目標値	50.0%	達成率	93.5%			
備考		達成度	3			

3 関連する事業名

- ・体育授業スペシャルサポーター派遣事業
- ・小学校体育等充実プログラム
- ・方針実践モデル校事業

4 施策達成レベル

3.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

全ての児童生徒が、達成感や成功体験を感じられるような、楽しく魅力的な体育授業の実施と、体育以外でも運動する習慣を身に付けさせるための取組等により、「運動やスポーツをすることが好き」と感じている児童生徒の割合は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、小・中学生ともに現況値よりは下がっており、目標値には届かなかったものの、小学校女子を除き、全国平均より高くなっている。

6 今後の施策推進に向けての課題

運動が苦手な児童生徒や、運動時間数が少ない児童生徒への対策が必要であり、体を動かす楽しさや喜びを味わい、運動を継続して実践することができる児童生徒が増加するよう、外部人材の活用により体育・保健体育授業の一層の充実を図るとともに、児童自らが運動や身体を動かす遊びの実施状況を把握する取組など、運動習慣の定着、コロナ禍における運動時間の確保につながる施策を引き続き推進していく必要がある。

2022年度 施策評価シート(2021年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	教育委員会 保健体育課
重点戦略	I 教育県岡山の復活		
戦略プログラム	徳育・体育推進プログラム		
施策名	【推進】子どもたちの健康の保持増進		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	「朝ごはんを食べることは大切だ」と回答した児童生徒の割合(小学生)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	87.6	90.1	92.6	95.0
現況値	85.1% (2020年度)	実績値	86.2			
目標値	95.0%	達成率	98.4%			
備考		達成度	3			

指標名	「朝ごはんを食べることは大切だ」と回答した児童生徒の割合(中学生)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	88.4	90.6	92.8	95.0
現況値	86.2% (2020年度)	実績値	87.0			
目標値	95.0%	達成率	98.4%			
備考		達成度	3			

3 関連する事業名

- ・スクールヘルスリーダー派遣事業
- ・がんの教育等推進事業

4 施策達成レベル

3.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

<p>子どもたちが健康な生活を送るために必要な力を身につけることができるよう、がんや性、薬物乱用に関する問題などの様々な児童生徒の現代的健康課題等への適切な対応を図るため、関係機関等との協議会の開催などにより教職員の知識・理解を深め、学校保健活動の充実を図る取組を実施した。</p> <p>また、食に関する指導については、食育スタンダードの活用と普及等のこれまでの取組により、目標としている「朝ごはんを食べることは大切だ」と回答した児童生徒の割合は、小学生、中学生ともに、現況値(2020)を上回ることができたものの目標値には届かなかった。</p>
--

6 今後の施策推進に向けての課題

<p>学校における健康教育を計画的に進め、学校、家庭、地域の連携を図ることで、子どもたちが望ましい生活習慣を身につけ、生涯にわたり、たくましく生きるための健康づくりを推進することとしているが、13~14%の児童生徒は、「朝ごはんを大切だ」と認識できておらず、成長期における食事の重要性や成長や活動に必要なエネルギーや栄養素について十分に理解させる必要がある。</p> <p>また、児童生徒の食習慣の改善には、家庭の協力が不可欠であり、家庭への効果的な啓発が必要であることや、栄養教諭による専門性を生かした指導が有効であること等を踏まえ、部活動を通じた食育の実践等を効果的に推進することにより、成果を県内に普及する必要がある。</p>
--

2022年度 施策評価シート(2021年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	教育委員会 人権教育・生徒指導課
重点戦略	I 教育県岡山の復活		
戦略プログラム	徳育・体育推進プログラム		
施策名	【推進】人権教育の推進		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	地域において人権教育・啓発を推進するために養成する指導者の数(累計)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	50	75	100	125
現況値	532人(2019年度)	実績値	50			
目標値	657人	達成率	100%			
備考	2021年度:582人(達成率は現況値からの増加数で算出)	達成度	4			

3 関連する事業名

- ・人権教育指導者養成講座
- ・PTA指導者人権教育研修会

4 施策達成レベル

4.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

<p>学校教育においては、各種教職員研修会及び市町村人権教育担当者会、人権学習充実拠点校事業等の実施を通じて、様々な人権をめぐる課題等に対する教職員等の理解と認識の向上のための取組を推進した。また、日々の指導に生かせるように人権教育の指導内容・方法等について、指導資料を作成し、各校に配布した。</p> <p>社会教育においては、住民が、様々な人権問題についての理解と認識を深められるよう各種情報の提供や連絡調整、視聴覚教材の整備等を行った。また、地域における指導者の養成等により、市町村の取組を支援した。</p>

6 今後の施策推進に向けての課題

<p>学校教育については、人権感覚の育成を図る取組は推進されているが、人権課題を明確にした人権学習の取組が減少してきている。人権学習の取組を通して、教職員も児童生徒も人権意識が高まるように、指導内容・方法の充実・改善を図る必要がある。</p> <p>社会教育においても、住民が日常生活の中に生かせる人権感覚と実践的な態度を身につけることを目指し、参加体験型の研修を実施する等の取組をさらに進める必要がある。</p>

2022年度 施策評価シート(2021年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	県民生活部 男女共同参画青少年課
重点戦略	I 教育県岡山の復活		
戦略プログラム	徳育・体育推進プログラム		
施策名	【推進】困難を有する子ども・若者への支援		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	子ども・若者支援地域協議会など困難を有する子ども・若者を支援する連携体制を整備している市町村数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	1	3	5	7
現況値	3市町(2020年度)	実績値	1			
目標値	10市町	達成率	100%			
備考	2021年度: 4市町(達成率は現況値からの増加数で算出)	達成度	4			

3 関連する事業名

・おかやま子ども・若者育成支援事業

4 施策達成レベル

4.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

<p>岡山市に対し、体制整備についての助言や個々のケースについての情報提供・支援を行うことで協議会設置が完了した。</p>

6 今後の施策推進に向けての課題

<p>様々な困難を有する子ども・若者の支援の充実には、身近な市町村における支援ネットワークである「子ども・若者支援地域協議会」を設置し、重層的かつ継続的な支援を行うことが有効である。市町村と連携したケース会議の開催や設置済市町村と未設置市町村との情報交換会の開催、関心を持っている市町村への訪問などにより、各市町村に対する情報共有や助言を継続的に行っていく必要がある。</p>
--